

【音読み】 ショウ
【訓読み】 わら(う)。え(む)。
【意味】 ほほえむ。あざわらう。
うれしがる。
【使い方】 (笑)

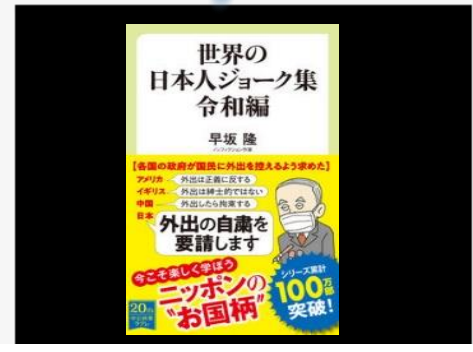


「面白きことは良きことなり！」
この言葉を胸に、狸の名門、下鴨家三男の矢三郎は偉大なる父の「阿呆の血」を受け継ぎ京都の街を駆け回る。人間と狸と天狗の三つ巴。狸界の頂点を決める会議では人間も天狗も巻き込み嵐を起こす。
古めかしい言葉もテンポよく読めるので、アニメをご存じの方もぜひご一読を。



『有頂天家族』
森見 登美彦 著 (幻冬舎)

コロナ禍において、各国の政府は国民にマスクの着用を求めることになった。
アメリカ政府はこう発表した。
「マスクをすればあなたは英雄です」
ドイツ政府はこう発表した。
「マスクをするのがルールです」
イタリア政府はこう発表した。
「マスクをすると異性にモテます」
日本政府はこう発表した。
「みんなマスクをしていますよ」
フランス・ベーコンは、「冗談は、しばしば真実を伝える手段として役立つ」といっています。日本人ジョークは私たちの横顔を表現できているのでしょうか？



『世界の日本人ジョーク集 令和編』
早坂 隆 著 (中央公論新社)

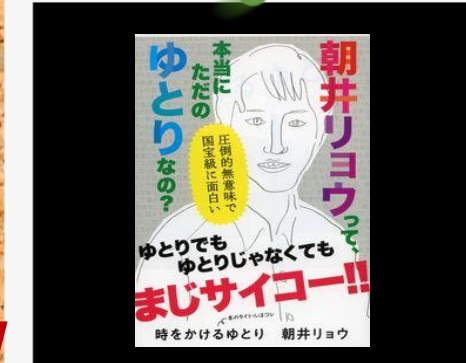


『あたしの、ポケのお姫様。』
令丈 ヒロ子 著 (ポプラ社)

床上のバナナの皮を人間が踏んだらどれくらい滑るのか、命を救うブラジャーの発明、ニワトリのしっぽに重りをつけたらどうなるか。どれもイグノーベル賞を受賞した研究です。研究者は皆、真面目です。
イグノーベル賞は、「人々を笑わせ、そして考えさせる業績」に対して贈られる賞です。
研究テーマを見た時と研究の中身を知った時、あなたの表情が違っているかも知れませんよ。



『ヘンな科学 “イグノーベル賞”研究40講』
五十嵐 杏南 著 (総合法令出版)

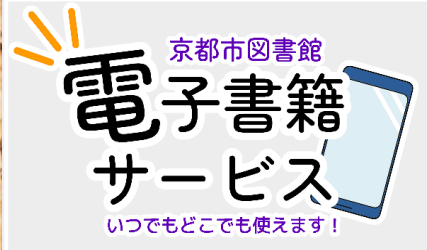


『時をかけるゆとり』
朝井 リョウ 著 (文藝春秋)



『桐島、部活やめるってよ』などの小説で知られる朝井リョウ氏の抱腹絶倒エッセイ集。1989年生まれ、ゆとり世代である著者が自意識過剰な青春時代を自虐と自戒を込めて振り返ります。教科書通りの中二病時代。初めて行く美容院で生きるか死ぬかの緊迫感あふれる雑談。何だか格好いい気がするという理由で行われる数々の無意味な挑戦と挫折。身につまされて胸が痛くなりますが、黒歴史をお笑いに昇華しているのは、さすがの文才です。

ここで使用している画像は、出版社の許可を得て掲載しています。



スマホ・タブレットで本を読もう！
どうやって使うの？どんな本があるの？
詳しくはウェブサイトで！
<https://web.d-library.jp/kyotocity/>



| | |
|---|---|
| <p>京都市左京図書館 住所 〒606-8103 京都市左京区高野西開町5 電話番号 075-722-4032 開館時間 平日 午前9時30分～午後7時 土・日・祝日 午前9時30分～午後5時</p> | <p>京都市岩倉図書館 住所 〒606-0013 京都市左京区岩倉下在地町16 電話番号 075-702-8510 開館時間 月・水・金・土・日・祝日 午前9時30分～午後5時 木 午前11時30分～午後7時</p> |
| <p>休館日 毎週火曜日（火曜日が祝日の時はその翌平日） 年末年始</p> | |